

学位論文の内容の要旨

専攻	分子情報制御医学	部門	病態制御医学
学籍番号	15D738	氏名	篠原 都
論文題目	A half-day stroke workshop based on the Kirkpatrick model to improve new clinical staff behavior		

【序論】

本研究は、脳卒中に対する初期対応として神経徴候を評価するため、全医療スタッフ用に作成したスケールおよびトレーニングプログラムの妥当性および有用性を検証することを目的とした。教育システム設計理論に基づく分析、設計、開発、実装、および評価のADDIEモデルを使用して脳卒中研修プログラムの開発を行った。

【方法】

脳卒中研修は、脳卒中に対する臨床スタッフの基本的なスキルを向上させることを目的とし、参加者(n=46)は、従来のシンシナティ病院前脳卒中スケール(CPSS)または修正CPSSグループに無作為に割り当て、半日の脳卒中研修を開催した。スキルを評価するために研修直後と6か月後に短期ケースシミュレーション試験を実施し、ADDIEモデルのプロセスを通して指導の枠組みを使って評価を行った。またこの研究では、Kirkpatrickモデルを使用し、今回開発した研修プログラムを同モデルのレベル1~3で評価した。

【結果】

レベル1では従来型CPSSまたは修正型CPSSのいずれかを使用した、脳卒中研修プログラムの評価は、参加者が非常に満足し、レベル2では知識とスキルの改善が示された(従来型CPSS:3.05±0.73対3.64±0.59, P=0.012および修正型CPSS:2.95±0.97対3.61±0.49, P=0.111、それぞれ前と後5-point Likert scale(5点満点で評価))。一方、従来型CPSSと比較して、修正型CPSSを用いて神経学的状態を評価することは参加者にとって困難な傾向がみられた。レベル3では、研修後の行動変容調査において、5つの項目の内4つの効果が高かった(P=0.039)。また意識調査で高い満足度が得られた。

【考察】

ISLSコースは、早期脳卒中の評価に対する体系的なアプローチを通じてBLS蘇生法のパラダイムを強化するために設計された半日プログラムとして開催されている。各演習を通して形成的評価とフィードバックを提供する経験豊富な講師による介入によって、新しい臨床スタッフの脳卒中研修プログラムの評価で高い満足度が得られた。そして、Kirkpatrickレベル1(反応)と2(学習)の変化を示した。この改善のほとんどはトレーニングの6か月後にも維持され、改善された参加者の知識とスキルを示し、Kirkpatrickのレベル3(行動)の変化を示している。

本研究の結果は、脳卒中初期対応訓練が参加者の反応、学習、および行動を改善できることを実証した。従来型CPSSまたは修正型CPSSのいずれかを使用した新しい臨床スタッフの脳卒中研修プログラムの評価は、参加者が非常に満足し、改善された知識とスキルを示した。今後の課題として、神経学的評価のトレーニング方法を改善する必要がある、ビデオ支援のリソースを組み込んだ混合学習は、臨床技能を学習者に教えるための有用なツールになると推察する。

本研究の限界はKirkpatrickレベル4の評価の欠如であり、これは将来の研究で取り組まれるべきである。Kirkpatrickモデルの4つすべてのレベルに基づいて、脳卒中ケアの臨床スタッフの訓練の有効性を評価した研究はない。

【結論】

脳卒中研修プログラムは、参加者の反応、学習、および行動に効果的である。修正型CPSSは詳細に評価することで、脳卒中以外の麻痺との鑑別にも対応でき、従来型CPSSより有用である可能性が示唆された。神経学的評価研修を改善することが課題である。

掲載誌名	Journal of Advances in Medical Education and Professionalism		
(公表予定) 掲載年月	2020年1月	出版社(等)名	Shiraz University of Medical Sciences
Peer Review	有 ・ 無		

(備考) 論文要旨は、日本語で1, 500字以内にまとめてください。